

授業科目名： 日本史演習	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：堀川 徹 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 日本史		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>授業のテーマ</p> <p>高等学校の地理歴史科の教員を目指す者が、日本史の最新の研究成果を多角的に学び、発展的な知識及びその知識を得るための方法論を修得する。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の日本古代史の研究成果を理解できる。 ・グローバルな視点で日本古代史を理解し、説明することができる。 ・問題意識をもって、自ら主体的に学ぶことができる。 ・日本古代史に関する歴史的事項を多角的に理解し、説明することができる。 ・歴史的事項の因果関係・相関関係について理解し、説明することができる。 ・日本の古代国家の形成過程・構造を理解し、説明することができる。 			
<p>授業の概要</p> <p>日本古代史について、近年の研究成果や周辺地域との関りに留意しながら概観する。単に歴史的事項の羅列にとどまらず、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目する。</p>			

授業計画

第1回：東アジアの倭・倭人・倭国—テキスト①第一章—

第2回：ヤマト王権の成立—テキスト①第二章—

第3回：東夷の小帝国と倭の五王—テキスト①第三章—

第4回：継体天皇の即位と伽耶—テキスト①第四章—

第5回：仏教の伝来と蘇我氏—テキスト①第五章—

第6回：飛鳥の王法と仏法—テキスト②第一章—

第7回：大化改新—テキスト②第二章—

第8回：大化改新後の展開—テキスト②第二章—

第9回：近江令の時代—テキスト②第三章—

第10回：律令体制の確立—テキスト②第四章—

第11回：律令国家の成立—テキスト③第一章—

第12回：国家と社会の仕組み—テキスト③第二章—

第13回：平城遷都—テキスト③第三章—

第14回：聖武天皇と仏教—テキスト③第四章—

第15回：古代社会の黄昏—テキスト③第五章—

定期試験

*スクーリングではすべての内容を包括的に扱う。

スクーリングでの学修内容

スクーリングではすべての内容を包括的に扱う。

教科書

①吉村武彦『ヤマト王権 シリーズ日本古代史②』岩波書店、2010

②吉川真司『飛鳥の都 シリーズ日本古代史③』岩波書店、2011

③坂上康俊『平城京の時代 シリーズ日本古代史④』岩波書店、2011

参考文献

- ・木下正史『倭国のなりたち 日本古代の歴史 1』（吉川弘文館、2013）
- ・篠川賢『飛鳥と古代国家 日本古代の歴史 2』（吉川弘文館、2013）
- ・西宮秀樹『奈良の都と天平文化 日本古代の歴史 3』（吉川弘文館、2013）
- ・受講生自らが収集する。

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。